



ふるさと便「夏の便り」のご案内



ふるさと便では「夏の便り」を7月31日(金)まで受け付けています。

真っ赤に熟したマンゴーや、さわやかな酸味のハウスみかんなどの果物はもちろん、5等級の鹿児島黒牛、夏ギフト定番の農協ハムなど、魅力あふれる商品を多数ご用意しています。大切な方への贈り物に、ぜひふるさと便をご利用いただき、鹿児島の夏をお届けください。



問い合わせ先

経済連ギフトセンター TEL 0120-722-188
FAX 0120-011-554
URL <https://furusato.karen-ja.or.jp/>



(株)エコープ鹿児島電子折込サービス「トクバイ」アプリ 配信スタート



Aコープのチラシやお知らせ情報をスマートフォンやパソコンにタイムリーにお届けする「トクバイ」アプリの配信をはじめました。

アプリを開いたらすぐに本日のチラシの確認ができます。

また、複数のページもめくる感覚でサクサク閲覧でき、拡大・縮小の操作も簡単です。

外出先やお買物前に価格や旬の食材をチェックし、楽しくおトクにお買物されてはいかがでしょうか。

ぜひダウンロード&店舗フォローをお願いします!



問い合わせ先 (株)エコープ鹿児島 099-284-8647



クミアイ家庭薬「さわやかりんご酢」新発売



クミアイ家庭薬から、国産のりんごでつくられたりんご果汁とりんご酢を使用した「さわやかりんご酢」が発売されました。

カリウムやポリフェノールを含む国産りんごで作られたりんご果汁とりんご酢をベースに、食物繊維や鉄など9つの健康・美容素材をプラスしました。

さわやかで、フルーティーな風味に仕上がった「さわやかりんご酢」は、1回分15mlを目安に、お好みにあわせて7~10倍にうすめてお飲みください。(10倍希釈時果汁3%)



販売価格：1本500ml 1,944円(税込)

※この商品は、家庭薬配置員がご自宅までお届けします。

問い合わせ先

経済連 生活課 クミアイ家庭薬 099-258-5325



イオンリテール東海鹿児島フェア



4月3日(金)~5日(日)にイオンリテール(株)東海カンパニー全店(62店舗)にて「鹿児島フェア」が開催されました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、トップセールスや試食PRなどのイベントは中止となりましたが、フェアでは、鹿児島黒牛・新じゃがいも・スナッペン・黒豚餃子・知覧茶などたくさんのお土産農畜産物が品揃えされました。

特に、日本一に輝いた鹿児島黒牛は、精肉売場にて大々的にPRされており、注目度の高さが伺えました。



結び屋「鮭ゴマ玄米おむすび」新発売



結び屋から、新商品「鮭ゴマ玄米おむすび」が発売されました。

白米感覚で食べる玄米「金芽ロウカット玄米」を使用したおむすびです。人気具材の鮭と、白ゴマと一緒に混ぜて風味よく仕上げました。

玄米に興味がある方や、自宅で炊飯をするのは大変そう...と、思っている方にもオススメの商品です。



販売価格：1個 160円(税込)

問い合わせ先

結び屋(おいどん市場谷山館内) 099-230-7803



「ごぼう漬うまっ辛っキムチ味」新発売



鹿児島くみあい食品(株)から国産ごぼう漬シリーズ第二弾「ごぼう漬うまっ辛っキムチ味」が発売されました。

シャキッとした食感の国産ごぼうにりんご黒酢や玉ねぎの旨味、唐辛子の辛味をブレンドし、特製キムチ味に仕上げました。

ご飯のおかずやお酒のおつまみにどうぞ!



販売価格：1個 214円(税込)

取扱店舗

Su+谷山店(おいどん市場谷山館内)
おいどん市場与次郎館

問い合わせ先

鹿児島くみあい食品(株) えい工場0993-38-0306

JA journal "IBUKI"

いぶき

鹿児島の農と協同の息吹

令和2年6月 年6回発行

鹿児島市鴨池新町 15
発行者 企画開発課
電話 099-258-5315
<https://www.karen-ja.or.jp>

第49号



おいどん市場与次郎館 増築工事地鎮祭

経済連HP
<https://www.karen-ja.or.jp/>



経済連facebook
<https://www.facebook.com/jakagoshimakenkeizairen>



JA鹿児島県経済連

PICKUP おいどん市場与次郎館 増築工事地鎮祭

4月7日（火）おいどん市場与次郎館増築工事にあたり、地鎮祭が執り行われました。

永福会長をはじめ本会役員、施工業者の方々計25名が出席し、工事の安全を祈りました。

地鎮祭で永福会長は「売り場を拡充することでJAと連携した生産者の育成や所得拡大、県内農畜産物の販売拡大に取り組みます。」と力を込めました。

リニューアル後は売場面積が、225坪（745.2㎡）に増床され、各売場が拡張されます。

青果物売場では県内で生産される青果物の品揃え強化や県産素材を生かした農産物加工品の充実、精肉売場では鹿児島県黒牛・黒豚等の精肉商品やギフト商品の強化、惣菜売場においては夕食惣菜の強化や一部惣菜の実演販売、鮮魚においては県内漁協と連携した魚種の多様化を図ります。

当面は仮設店舗での営業となり、リニューアルオープンは9月中旬を予定しています。

おいどん市場与次郎館はこれからも「地産地消」をコンセプトに、新鮮な旬の食材を取り揃え、鹿児島の生産者と消費者の想いをつなぐお店を目指します。



PICKUP マンゴー出荷はじまる

JAそお鹿児島管内にて、3月下旬より令和2年産マンゴーの収穫が始まりました。

今年のマンゴーは、色づき、糖度とも良く、おいしく仕上がっていますが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、全国の百貨店などの営業自粛等から、厳しい販売環境となっています。

本県のマンゴーは、JAそお鹿児島を皮切りに、JA北さつま、JAさつま日置、JAいぶすき、JA種子屋久、JAあまみで、7月まで出荷が続き、鹿児島県全体で約78tの数量を計画しています。

大切な方への贈り物やご自宅用として、かごしまのマンゴーはいかがでしょうか。



PICKUP 「鹿児島黒牛商品券」発行

新型コロナウイルスの影響により肉用牛農家の経営を取り巻く状況は厳しさを増しています。

そこでJAグループ鹿児島の緊急かつ一体的な取り組みとして、県内AコープおよびJAの鹿児島黒牛取扱店舗で利用できるプレミアム付「鹿児島黒牛商品券」を期間限定で発行しました。

JAグループ鹿児島役職員による鹿児島黒牛の消費拡大に努めます。



PICKUP 新型コロナウイルス感染症 指定医療機関へ新茶を贈呈

（公社）鹿児島県茶業会議所は、新型コロナウイルス感染症の対応に尽力されている医療従事者の皆さまへ感謝の意を込めて、県内12ヶ所の感染症指定医療機関に鹿児島県産の新茶を贈呈しました。

お茶は、免疫力が高まることやリラックス効果が期待されることから、ぜひ多くの方に鹿児島の美味しいお茶を味わっていただきたいと思います。



PICKUP 「花いっぱい運動」を展開

本会では、新型コロナウイルスの影響で需要が低下している花きの消費拡大を図るため、家庭や職場に花を飾る「花いっぱい運動」を展開しています。

4月28日（火）は県農協花き部会より、県内マスコミ6社に花きのアレンジメントを提供し、「鹿児島の花」として番組でも紹介されました。

4月30日（木）は田上児童クラブの子どもたちに花育活動を行い、児童1人1人にスプレーギクの花束を贈りました。

5月1日（金）はJA会館職員および県農政部職員に鹿児島県産のスプレーギクやオリエンタルユリの花束430束を販売しました。

5月下旬から6月上旬に鹿児島県庁やJA会館に約12,000本の花を展示しました。

今後も「花のある暮らし」を提案してまいります。



PICKUP JA-SS「がんばろう、鹿児島。鹿児島黒牛プレゼントキャンペーン」開催

鹿児島県内JA-SSで、令和2年4月29日（水）～5月31日（日）に、JA-SSから鹿児島の農業、農家組合員、地域住民の皆さまに元気を発信するキャンペーンとして、「がんばろう、鹿児島。鹿児島黒牛プレゼントキャンペーン」を実施しました。期間中は多くのご利用誠にありがとうございました。（当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。）

これからも、JA-SSは、地域の皆さまに元気を発信するとともに、キャンペーン等を通じて、県内産農畜産物のPRや消費拡大、農家組合員の支援に取り組んでまいります。



PICKUP 「鹿児島黒牛 生産者・消費者応援セール」開催

（株）エコープ鹿児島では、新型コロナウイルスの影響を受け、消費が低迷している肉用牛農家の方々の支援と、学校休校や在宅を余儀なくされている消費者の皆さまの家計応援を目的とした「生産者・消費者応援セール」を4月と5月に行い、県内エコープ全店（78店舗）で鹿児島黒牛を特別価格で販売しました。



PICKUP 「ジーノ」・「農家レストランたわわ」テイクアウトサービス開始

本会直営レストラン「ジーノ」・「農家レストランたわわ」におきまして、テイクアウトサービスを開始しました。

「ジーノ」では鹿児島県黒牛・黒豚を使用したハンバーグ・ステーキ・ヒレカツサンド、「農家レストランたわわ」では20品目入った新鮮たわわサラダやりんご黒酢の酢鶏など、お店の味をご自宅や職場で味わえます。



6月16日は和菓子の日。これは西暦848年6月16日に、仁明天皇が御神託に基づき、16個のお菓子やお餅などを神前にお供えをし、疫病を除け健康招福を祈願したことが始まりだそうです。